

平成29年度 第2回越谷市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 会議録

平成30年2月16日（金） 18：30～

中央市民会館5階第2、3会議室

○委員定数（15名）

○出席委員（9名）

松本 實	委員	越谷市私立保育園・認定こども園協会
竹村 厚子	委員	越谷市私立幼稚園協会（大袋幼稚園園長）
佐藤 勝	委員	越谷市民生委員・児童委員協議会（理事）
會田 容子	委員	越谷市子ども会育成連絡協議会（会長）
渡辺 寛子	委員	越谷市子育てサークルネットワークの会（幹事）
大西 孝一	委員	越谷商工会議所（常議員）
長友 祐三	委員	埼玉県立大学（保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授）
櫻井 慶一	委員	文教大学（人間科学部人間科学科 教授）
久保 信一	委員	公募委員

○欠席委員（6名）

大村 純一郎	委員	越谷市医師会（理事）
中台 正弘	委員	越谷市小学校長会（越谷市立蒲生第二小学校 校長）
鈴木 実	委員	越谷市PTA連合会（理事）
市村 洋子	委員	埼玉県立越谷西特別支援学校（校長）
遠藤 和幸	委員	埼玉県越谷児童相談所（所長）
清水 孝代	委員	越谷地区労働組合協議会（幹事）

○事務局出席者

渡邊 浩秀	子ども家庭部長	藤城 浩幸	子ども家庭部副部長(兼)青少年課長
関根 正和	子育て支援課長	野口 広輝	子ども育成課長
櫻田 尚之	市民健康課長	渡辺 真浩	教育総務課長
福岡 敏哉	児童発達支援センター所長	稲橋 利幸	児童館コスモス館長
上原 文江	児童館ヒマワリ館長	阿部 伸也	子ども育成課調整幹
松村 一男	青少年課調整幹	中村 光邦	子ども育成課副課長
小澤 幸太	子ども育成課主幹	八田 彩起子	子ども育成課主事
小拔 麻衣子	子育て支援課副課長	中村 則行	子育て支援課副課長
杉内 麻里子	子育て支援課主事	阿部 麻里絵	子育て支援課主事

1 開会

※配布資料確認

- ・次第
- ・委員名簿
- ・保育所公募(第3次)の結果について
- ・保育所等(平成30年4月開設分)の認可・確認について
- ・小規模保育事業(平成30年4月開設分)の公募結果及び認可・確認について
- ・3歳から5歳児の施設整備における今後の方向性について
- ・子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しに関する意見募集の結果について
- ・子ども・子育て支援事業計画中間年の見直し(案)
- ・保育所公募(平成31年4月開設分)の結果について
- ・保育所等の利用定員の変更、休止について
- ・保育関係参考資料

※司会(事務局)より傍聴人の報告

2 議事

※越谷市社会福祉審議会条例第6条第2項に基づき、櫻井分科会長が議長となり議事進行する。

3 (1)協議事項

- ①保育所公募(第3次)の結果について
- ②保育所等(平成30年4月開設分)の認可・確認について
- ③小規模保育事業(平成30年4月開設分)の公募結果及び認可・確認について
事務局詳細説明(子ども育成課 阿部調整幹)
- ④3歳から5歳児の施設整備における今後の方向性について
事務局詳細説明(子ども育成課 小澤主幹)

(2) 報告事項

- ①子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しに関する意見公募の結果について
事務局詳細説明(子育て支援課 小抜副課長)
- ②保育所公募(平成31年4月開設分)の結果について
- ③保育所等の利用定員の変更、休止について
事務局詳細説明(子ども育成課 阿部調整幹)

質疑等(要旨)

3-1) ②保育所等(平成30年4月開設分)の認可・確認について

委員 にじの駅保育園は、保育施設の他、予防介護施設とフィットネスジムが併設された施設の様ですが、会計も含めて一体化した施設と考えてよいのでしょうか。フィットネスジムの位置づけはどのようになっていますか。

事務局 保育所、学童保育室、保育ステーションは社会福祉法人、園庭を挟んだ場所に設置される予防介護施設とフィットネスジムは有限会社ミルキーウェイが運営するため、会計は異なります。また、予防介護施設は公益事業、フィットネスジムは収益事業となります。予防介護施設は介護保険が適用となる施設で、主に昼間開所するため、それ以外の空いている時間でフィットネスジムを運営します。なお、保育ステーションは委託事業ですが、学童保育室については市の財政支援はなく、予防介護施設及びフィットネスジムについても市の財政は関与しておりません。

3-1) ③小規模保育事業(平成30年4月開設分)の公募結果及び認可・確認について

委員 キッズハウスクレヨンいるか組は平成30年度から認可施設になるとのことですが、認可定員の19名は、認可外保育施設のとときに利用定員としていた人数なのでしょうか。また、レイクタウンひまわり園について、10月の審査時における懸念事項は現時点では解消されていると考えてよろしいですか。

事務局 認可外保育施設は認可施設とは別に規準が定められているため、認可外保育施設の定員がそのまま認可定員となるわけではありません。0歳児4名、1歳児7名、2歳児8名の19名は認可をする際の定員であり、それに基づき保育士の配置等について確認を行っています。また、レイクタウンひまわり園については、新設する建物での開設となったため、10月時点においては予定通りの開設に懸念がありましたが、施工業者を含め追加でヒアリングを実施し、法定上問題がないことを確認して採択に至りました。現在、現場の確認も行っておりますが、4月開設については問題ありません。

議長 レイクタウンひまわり園について、必要保育士が確保されていないため加算なしとの記載がありますが、現在は確保されていると考えてよろしいですか。

事務局 現在は確保されております。

委員 審査時の主な意見・事業者に対する期待の中には、期待したい・努めていただきたい等、改善を求めるコメントがありますが、それらの項目については改めて審査するのでしょうか。

事務局 採択した後、事業者との調整をする中で改善するよう指導しています。

3-1) ④3歳から5歳児の施設整備における今後の方向性について

委員 待機児童及び保留児童の定義について教えてください。

事務局 保留児童は最終的にどこの施設にも入れなかった児童です。待機児童については、国が示している定義に基づき、保護者の都合により入所しなかった児童数等を差し引いた後の児童数で、越谷市における平成29年4月1日現在の待機児童数は43名となります。

議長 43名の子どもたちはその後どうしているのかわかりますか。

事務局 公的補助のない認可外施設を利用する場合は待機児童として計上されていますので、認可外施設に預けている方、また、就業せず引き続き自宅で子どもをみる方や祖父母に預ける方等がいらっしゃるかと認識しております。

委員 幼稚園の3歳～5歳では供給が過剰な状態になっているとありますが、資料に記載されている数字からは保留児童は3歳～4歳児でもまだ存在するよう見受けられます。待機児童だけではなく保留児童についても考えていくべきではないでしょうか。

3-2) ①子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しに関する意見募集の結果について

3-2) ②保育所公募（平成31年4月開設分）の結果について

質疑等なし

3-2) ③保育所等の利用定員の変更、休止について

議長 株式会社コマームが休止するとのことですが、越谷市ではベビーシッター事業がなくなってしまうのでしょうか。

事務局 あくまでも廃止ではなく休止であり、さらに利便性の高い居宅訪問型保育事業を検討していきたいという事業者の申し出だったため、認めることとしました。

その他

- 委員 保留児童の定義について、申し込みがあったがどこにも入れなかった児童という説明がありましたが、親の都合によってあえて入らなかった場合は保留児童とされるのでしょうか。
- 事務局 保留児童となりますが、待機児童には含まれません。
- 委員 本日の資料にあります平成29年4月1日現在の待機児童数については、主任児童委員が集まる部会において公表しても差し支えありませんか。
- 事務局 平成29年4月1日現在の待機児童数についてはすでに公表しているものですので、お使いいただいて構いません。
- 委員 待機児童や保留児童の定義について、簡単に資料へ記載いただければと思います。
- 委員 保育の受け皿を確保するにあたり、それを支える人材を確保することも必要となりますが、その点についてはどうお考えですか。
- 事務局 全国的に保育士不足が顕在化しており、保育士の給与が低いこともその要因と考えられるため、越谷市においても処遇改善のための加算を行い、適正な給与の支給に努めているところです。その他、民間保育施設においても、保育所ツアーや合同説明会等を開催していただいております。市としても、広報こしがやでの周知を図る等、微力ではございますが支援をしております。また、保育士3年目の離職率が高いことから、今年度より離職を防止するための研修を行っております。今後も、保育士確保についてどういった対策ができるのか、引き続き調査・研究していきたいと考えております。

4 その他

※任期満了に伴う委員選出及び次回の全体会日程について事務局より連絡

議事終了 20:30